

# 第9回新機械振興賞

きょう表彰式



さあいさつ

現在、わが国機械産業には技術革新を通じて創造性に富んだ活力のある経済社会の実現に向け先導的役割を果たすことが期待されています。

機械振興協会では、優秀な研究開発とその成果の実用化によってわが国機械工業技術の進歩発展に貢献した企業および研究開発担当者を表彰する制度を1996年に実施しています。

## 活力ある産業社会実現を

機械振興協会会長

庄山 悅彦

6年度以来実施しておりますが、研究開発意欲の一層の高揚を図るために、2003年度に従来の機械振興協会賞と中堅中小企業新機械開発賞を統合し新機械振興賞を創設いたしました。

第9回となる今回は、機械工

業関係の団体などから19件のご推薦をいたしました。厳正な審査の結果、技術の独創性および経済性に極めて優れた4件の表彰を決定いたしました。

受賞者のこれまでのご努力に対して、深く敬意を表しますとともに、今後ますます輝かしい業績を積み重ねられ、機械工業の振興に寄与されますようお願いする次第です。また本事業をご援助下さいました関係各位に対し深く感謝の意を表します。

マツダの「高压縮比高効率ガソリンエンジン」。近年開発が活発化しているハイブリッド車や電気自動車では、電子デバイスの燃費改善技術の採用が進んでいる。これは内燃機関が動力源として搭載されていると考えられている。今後はアイドリングストップ、減速エネルギー回生とい

る。このように最大で80%の省エネを実現した。

マツダはマツダの「高压

縮比高効率ガソリンエン

ジン」。近年開発が活発化しているハイブリッド

車や電気自動車では、電

気デバイスの燃費改善技術の採用が進んでいる。

革新的な技術を実現するため、今後ますます輝かしい業績を積み重ねられ、機械工業の振興に寄与されますようお願いする次第です。また本事業をご援助下さいました関係各位に対し深く感謝の意を表します。

庄山 悅彦

庄山 悅彦